

#001 Bino WAVE

自遊に、くらす。
スキップフロアの魅力、再発見！

P102
▼

#002 FREAK'S HOUSE

二人の好きを思いきり詰め込んだ
白壁と芝生のプライベートガーデン

P106
▼

上田市を拠点に、地元根ざした家づくりを続けるアクロスホーム。「自遊に、くらす」がコンセプトの規格住宅ブランドBinoや、アメリカンライフのエッセンスが詰まったFREAK'S HOUSEなど、多彩なラインナップが人気を集めています。今回は、同社が手がけた「神畑BASE」のWAVEモデルハウスと、オーナーさんの建てたFREAK'S HOUSEをご紹介します。暮らしを豊かにするアクロスホームの魅力に迫ります。

片流れの三角の家と、L字型の四角い家。

いずれもシンプル＆ナチュラルでありながら

さりげない個性が際立ちます。

ベースとなっているのは規格住宅のプラン。

アレンジで自由設計のワクワク感もプラスできる

自分らしい家づくり、始めませんか？

家に恋しよう。

LET'S BE IN LOVE WITH A HOUSE.

ふたつの白い邸宅



FREAK'S HOUSE



WAVE



右・上_LDKを家の中心に据え、のびやかに広がる開放的な室内。天井や床には自然素材のバイン材をふんだんに用いて、温もりのある空間に仕上げている。壁にはグレーがかつたホワイトの壁紙を採用し、洗練された落ち着きを演出。 下右_シンプルながら使いやすい対面式キッチン。ナチュラルウッドとグレーのタイルを組み合わせた立ち上がりの腰壁が、上品で洗練された雰囲気을漂わせている。 下左_土足で気軽に出入りできるアウトサイドストッカー。キャンプやバイクなどのツールや外使いの道具などを思いきり収納できる。遊びの拠点にしたいくなる大人のための秘密基地だ。

小さくてもゆったり暮らせる
木の香りに包まれたWAVE

片流れの大屋根にホワイト×ナチュラルウッドの外観。やさしく温かみのある佇まいが森や田園風景にすっと馴染むBino WAVEのモデルハウスです。木の香りにふわっと包まれる室内は、思わず深呼吸したくなる心地よさ。明るい光と風が吹き抜けを伝って家中に満ちています。

WAVEは規格住宅ブランドBinoの人気商品で、最大の特徴はスキップフロア構造にあります。

スキップフロアとは、床の高低差によって空間を緩やかに仕切る建物構造のこと。壁で仕切らない分、視線が抜けて開放感が生まれ、光と風がたつがり入る立体的な家がつくれます。中2階のような部屋やアウトサイドストッカーもあり、敷地を有効活用することで、限られた土地でも庭をもつことが可能です。

実際にWAVEのキッチンに立ってみるとウッドデッキの先まで見渡せ、半階上のセカンドリビングとも緩やかにつながっているのがわかります。家のどこにいても家族の様子がわかる安心感と心地よさ。それはスキップフロアのWAVEだからこそ叶う暮らしです。



#001

自遊に、くらす。
スキップフロアの魅力、再発見！

Bino **WAVE**
SKIP FLOOR

MODEL HOUSE

Place / 上田市

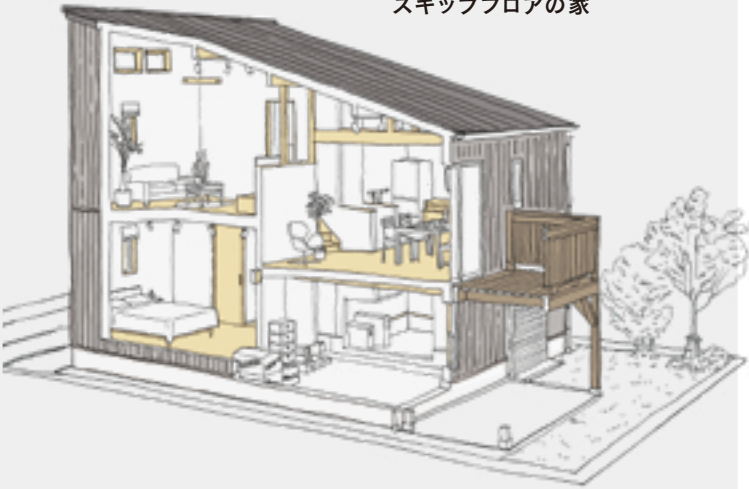




右_玄関には、生活動線を考慮してコートなどをかけられるスペースを設けた。 中_サニタリースペースは、毎日使う場所だからこそ清潔で、しかもおしゃれに仕上げたい。 左_リビングの先に広がるウッドデッキ。外階段がついているので、ここから直接庭へ降りられる。薪ストーブの薪は、この外階段を伝って運び上げる。この薪動線があるからこそ、ストレスなくストーブライフが楽しめる。薪ストーブ導入にも多くの実績をもつ同社ならではの、理にかなった提案だ。

SKIP FLOOR

今こそ注目したい、
スキップフロアの家



長期優良住宅

Performance

設計住宅性能評価書取得

Strength

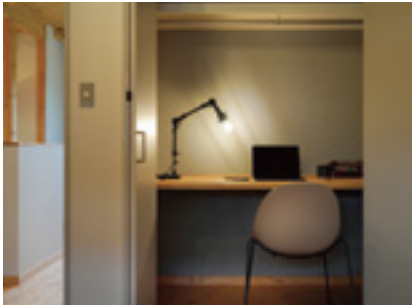
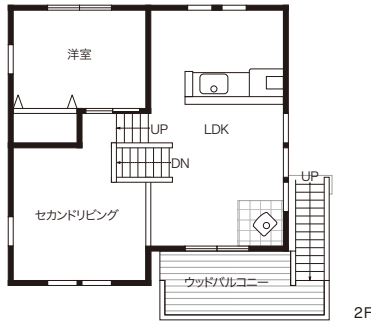
耐震等級3
耐風等級2
許容応力度計算

Insulation

ZEH水準
断熱等性能等級5
一次エネルギー消費量等級6

PLAN

1F面積：48.02㎡(14.50坪)
2F面積：49.68㎡(15.00坪)
延床面積：97.70㎡(29.50坪)



右上・右下・左下_LDKから半階上がったところにはフリースペースがある。例えばセカンドリビングとして、LDKにいる人の気配を感じながら思い思いに過ごすことも、あるいはおしゃべりしながら同じ時間と空間を共有することもできる。もちろんゲストルームや趣味部屋にしてもいい。生活空間以外のこんなスペースが、忙しい毎日に心のゆとりをもたらしてくれる。一部、色を変えた壁紙が空間に穏やかなアクセントを添えている。 左上_洋室の一角をスタディスペースにアレンジ。造り付けの木の天板は、デスクとしても収納棚としても使える。

安全性が問われる今こそ
高い技術と信頼で選ばれる家に

スキップフロアの家は魅力的ですが、独特な構造ゆえに緻密な構造計算が不可欠です。さらに2025年の法改正で構造基準が強化され、より高度な知識と技術が求められるように。そんな中でも、スキップフロアの家に積極的に取り組んでいるのが同社です。

統括マネージャーの荒井さんは、「見た目だけでなく安全性を何よりも重視してきました。もともと全棟で許容応力度計算を行い品質や性能を証明してきたので、規制が強化されても十分に対応できるのが強みです」。

小さく建てて、豊かに暮らすという考え方を、ずっと大切にしてきたという荒井さん。コンパクトでもゆったり暮らせるスキップフロアのBinO WAVEなら、無駄な出費を抑えつつ、家族や庭とつながることで、本当に心豊かな暮らしが叶います。安全性が証明された確かな品質は、家の資産価値の維持にもつながっていくでしょう。

「物価高騰の今だからこそ、スキップフロアの良さが生きてくる。BinO WAVEは、これからの時代の最適な選択肢になるはずです。豊かな未来のために、ぜひ体験してほしいですね」



#002

二人の好きを思いきり詰め込んだ
白壁と芝生のプライベートガーデン

FREAK'S HOUSE

□ TWO FLOOR

Place / 東信地区
Family / ご夫婦

「衣替えのシーズンに、収納が全然足りなくて。もうやだ、自分たちの好きな家を建てたい!」と思ったのがきっかけ」と、家づくりの出发点について話すWさん夫妻。前を通って気になっていた展示場「小島BASE」を訪れた際、担当の荒井さんが構造や資金のことなど「から説明してくれて、その丁寧さと大らかさが、アクロスホームで家をつくる決め手になったといいます。

総2階じゃなくていい、1階にウォークイン・クローゼットを設けて洗濯動線をスムーズに、と考えていた二人の理想にハマったのが、規格住宅FREAK'S HOUSEのプラン。「FREAK'S STOREでは洋服を買っていたこともあるし、アメリカンローカルなテイストも好きで。規格のプランをベースにしながら、かなり自由に要望を取り入れてもらいました」。たとえば外壁は黒から爽やかな白に變更し、一緒に立つことが多いキッチンと洗面所はゆとりある広さに……。耐震等級3など大切な住宅性能はそのままに、二人らしく整えた、暮らしを楽しめる住まいが誕生しました。

規格プランをカスタマイズして
暮らしを楽しむ理想の住まいに



右上・下_白いサイディングとスギ材の壁のコントラストが美しい。L字型のテラスは、木材から手入れのしやすいコンクリートに変更。プライベートガーデンではBBQを楽しんでいる。 上右_高い天井が開放感を醸す。エアコンは上下階に1台ずつ設け、窓はすべてトリプルガラス樹脂サッシに。断熱性に優れ、冬暖かく、夏涼しい。「以前の賃貸では窓の結露に悩まされていたのですが、今はとても快適に過ごしています」 上左_キッチンカウンターには、カフェやショップのようなガラス扉を設置。照明はWさんが選んで持ち込んだもの。「荒井さんには『なんでも好きなものを使いましょう』と言ってもらえてありがたかったです」とWさん。 左_視線が斜めに抜ける開放的なリビングダイニング。光と風をたっぷり呼び込む大開口の先に、芝生の庭が見える。





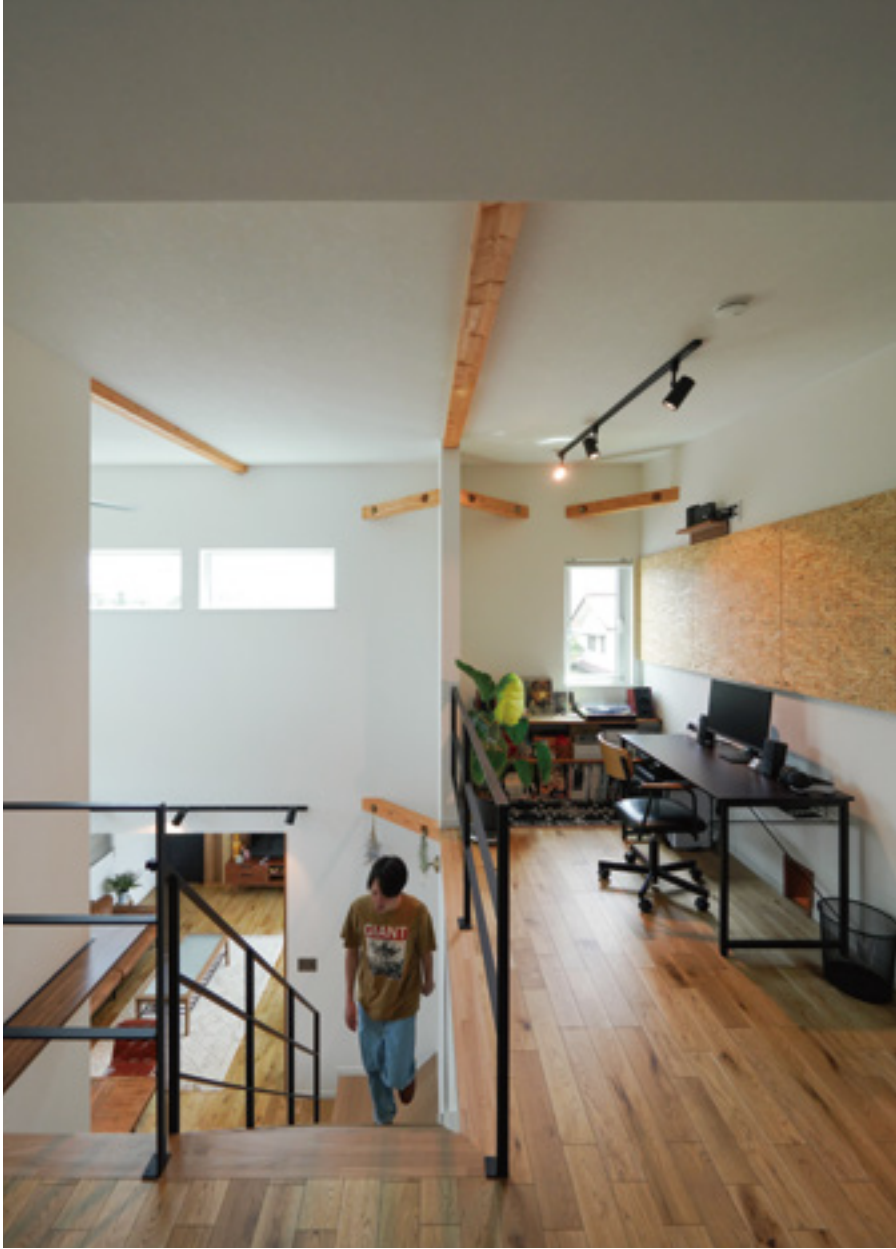
上_夫妻の希望で寝室の窓際に付けてもらったヌックは、本を読んだりお酒を飲んだりして、ゆったりくつろげる空間。隣家の梅林が見事な借景に。 下_植物が好きというご主人が育てているのは、ワイルドな雰囲気の魅力のオージープランツ。敷地がゆったりと広いため、裏庭ではハーブ菜園をつくって楽しんでいる。

1階は、レッドシダーの板張りの壁が味わい深いリビングと、二人でストレスなく料理できる、奥行きのあるキッチン。キッチンカウンターにカフェのようなガラス扉を付けたのは、猫と暮らすWさんの「猫ファーストな家になりたい」という思いから。「キッチンは猫にとって危険なものが多いので、留守中は閉めて猫が入れないようにしています」。大きな造作カウンターのある洗面所とウォークイン・クローゼット、ランドリールームはぐるりと回遊できるようになっていて、乾いた洗濯物はクローゼットに移動させるだけ。「この

動線がとても便利で。洋服も全部収まって、衣替えも不要になりました」。L字型の建物とウッディなフェンスに囲まれたテラススペースは、リビングからのつながりも感じられるブライベートガーデン。ここでBBQをするのが、休日の楽しみになったそうです。吹き抜けに面した2階のフリースペースには仕事用のデスクを置き、ゲスト用の洋室は、ふだんはセカンドリビングとして使っています。「西日対策で窓をつけなかった西側の壁が、プロジェクター投影にぴったりで。ゲームや映像を楽しむお気に入りの場所になり

ました」。さらに寝室には、小上がりのようなヌックを導入。ちょうどいい具合に隣の梅の木が眺められて、春には花見を満喫したのだとか。こんなふうにリラックスできる居場所があちこちにあるのも、「この家が好き」と思える理由の一つです。規格住宅ながら、自分らしいアレンジと安全性を両立できるアクロスホームで、理想の暮らしを手に入れたWさん。今後はロックガーデンとオージープランツの個性的な庭をつくる予定とか。家づくりの楽しみは尽きません。

家事がはかどる回遊動線。
くつろぎの空間もあちこちに



左・上_朝起きて階下に降りるとき、東側の高窓から光が入って気持ちがいい。2階のフリースペースでは、ご主人が仕事をしたり、ゲームをしたり、レコードをかけたり。床材は表面に3mmの天然木を張った挽き板フローリング。無垢の風合いがありながら汚れが染み込みにくく、比較的手入れがラク。デスクの下に見えるのは、猫が寝室に入入りするペットドア。



右_壁に付いているのはキャットウォーク。ダイニングに座って二人でお酒を楽しむのが、至福のひとつ。 中_朝は同時に身支度することが多いため、横並びできる大きな洗面カウンターを造作してもらった。鏡はWさんが選んで取り寄せたもの。ここの高窓からは、夜、月がきれいに見えるという。 左_居室の壁紙はシンプルな白を選んだが、寝室の一面のみ、デニムを思わせる深みのあるブルーに。光を採り込む窓は、通りや近隣の家から見えない高さを計算して設置。南側の窓からは山が、東側からは木々の緑が眺められる。

長期優良住宅

Performance

設計住宅性能評価書取得

Strength

耐震等級3

耐風等級2

許容応力度計算

Insulation

ZEH水準

断熱等性能等級5

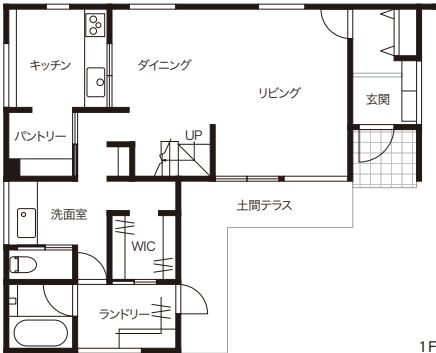
一次エネルギー消費量等級6

PLAN

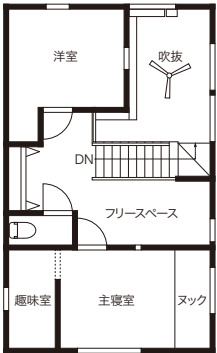
1F面積：67.90㎡(20.50坪)

2F面積：40.57㎡(12.25坪)

延床面積：108.47㎡(32.75坪)



1F



2F

LIFE DESIGN SPOT

家に恋しよう。

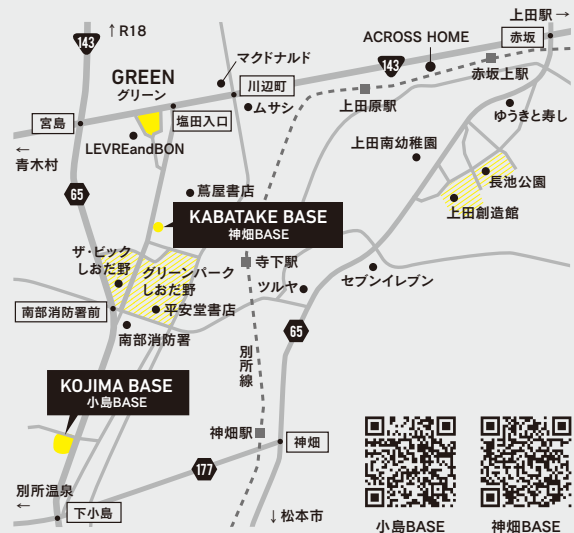
ACROSS TOWN MAP



KOJIMA BASE



小島 BASEでは、「自遊に、くらす。」をコンセプトにワクワクする暮らしを提案しているブランド、BinOのCOVACOとLOAFERの2棟を見学体験できます。また神畑BASEでは、シンプルな四角い箱の家、ZERO-CUBEを体験することが可能。他2棟の外観も見学できます。



KABATAKE BASE

アクロスホームが考える
これからの家づくり

品質が担保された
将来の資産になる
価値ある家を提案

統括マネージャー
荒井 博史さん

これまで手がけてきた家は約200棟。家づくりを検討している人たちに向け、自身の家づくりの経験も踏まえた的確なアドバイスをを行っている。



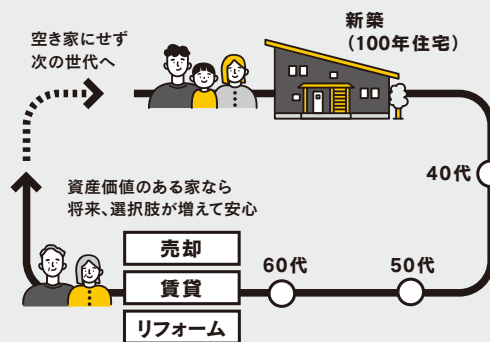
私たちの仕事は、家を建てることではありません。人生設計の中で将来資産になる家、豊かな人生を送っていただくための提案をすることが仕事です。そこで大切になるのが「品質」です。

弊社では長期優良住宅の他、第三者機関による監査を行い品質を担保しています。文字どおり第三者が施工チェックするもので、弊社ではより安心な10回の監査を実施。約30万円の費用は全額自社負担で行っています。品質向上のための費用はビルダーが負担すべきというのが弊社の姿勢です。

ただ、ここで注意していただきたいのは、監査さえ入れば品質が上がるわけではないこと。建物の品質や完成度を高めるのは、実際に家づくりを請け負うビルダー

と現場で施工する職人さんだからです。そこで弊社では、職人さんと協力して匠塾という職人集団をつくり、技術向上のための研修や情報交換会を定期的に実施しています。こうした積み重ねが功を奏し、弊社の施工技術は高く評価されていますし、万が一やリ直しが発生しても徹底的に対応します。それが後々の信頼関係につながると思うのです。

職人の皆さんをはじめ設計、コーディネーター、現場監督、アフターメンテナンス、営業、経理、システムまで、関わる人みんなが連携して想いをつなぎ、一つの家をカタチにする。そのチーム力がこそが、大手メーカーにも負けない高い品質を提供できる私たちの強みだと自負しています。



性能

QUALITY

長期優良住宅(100年住宅) 補助金100万円対象

長期優良住宅は、長く安心で快適に住み続けられると国が認めた高品質な家。アクロスホームは長期優良住宅認定が標準です。

耐震等級3 + 許容応力度計算

全棟で最高等級の「耐震等級3」を取得しています。これは災害時の防災拠点となる消防署や警察署など同レベルの強さです。

制震ダンパー装着

制震装置が地震エネルギーの一部を吸収することで、住宅に伝わる揺れを抑え、倒壊のリスクを抑えます。

ZEH水準

2025年に義務化される省エネルギー基準よりも、さらに高性能な「ZEH水準」の家づくりをしています。

断熱等性能等級5

断熱等性能等級5を取得しています。UA値(外皮平均熱貫流率の基準値)は0.4~0.43で、長野県の基準値を上回る数値です。

一次エネルギー消費量等級6

平成28年基準の家より消費電力を20%以上削減。電気代が年間5万円以上安くなります。

トリプル樹脂サッシ標準仕様

高性能トリプルガラスの樹脂窓の採用により、トップクラスの断熱性能を獲得。快適な住環境を実現しています。

監査

INSPECTION SYSTEM

POINT 1 全棟第三者の監査で厳しくチェック

第三者による厳しい「監査」を実施し、品質を管理・維持しています。「施工品質基準手引書」に基づき主要な10工程※で現場をチェック。基準に適合しなければ是正工事で改善します。一つずつクリアしない限り次の工程に進めない仕組みです。



1 基礎底盤 コンクリート 打設前	2 基礎立上がり 型枠施工後コン クリート打設前	3 土台据付 施工後、 床下地施工前	4 上棟直後 屋根ルーフィング 施工完了後	5 構造躯体施工 完了後外壁防水 シート施工前
6 防水シート 施工完了後	7 壁・天井断熱材 施工完了後 ボード施工前	8 内部造作・ プラスターボード 施工完了後	9 外装施工 完了後、仮設 足場撤去前	10 建物完成時

※物件により該当しない項目があります。監査費用の30万円はアクロスホームが負担します。

POINT 2 独自基準を
設けて
品質を維持

POINT 3 現場の
見える化で
しっかり確認

POINT 4 現場監査
記録書で
将来も安心